

### I. 授業の基本情報

この授業は教育学部2回生後学期の専門教育科目で、履修登録者数は29名であった。授業の目的は身近な地域から世界の地域までを具体的な事例としながら基礎的な知識を修得させ、地域的特色や地域的差異を理解する地理学的見方を身につけることを目的とした。授業の到達目標は、①地理学(地誌学も含む)の基本概念を理解する。②地図とくに地形図の基礎知識を習得し、正しく読図できる。③それぞれの地域の特性を理解し、地域における人文事象と自然環境や歴史・社会・経済環境などとの関係を説明できる、である。

関連するDPは教育に関する確かな知識と、得意とする分野の専門的知識を修得している(知識・理解)。教育活動に取り組むため、高い技能と豊かな表現力を身につけている(技能・表現)、である。

### II. 授業評価の実施方法

授業評価は2016年7月12日の授業においてアンケートを実施し、その結果を集計した。アンケートの内容に応じて、チェックリスト型と自由記述型を採用した。履修者29人のうち、25人から回答を得た。

### III. 「地域社会を核とした教育と研究のつながり」について

本講義は「地域学入門」として、地域社会が直面する問題を取り組み、学生と一緒にフィールドワークを行ない、地域問題への理解を深めた。



(写真1 水準点を熱心に観察する受講生)

### IV. 授業評価の結果

以下の項目について、「①そう思う、②どちらかといえばそう思う、③どちらとも言えない、④あまりそう思わない、⑤そうは思わない」を聞いた。なお、集計結果には選択され

なかった項目を省略した。

1. あなたは、授業時間外で積極的に予習や復習をしましたか。

- ①そう思う 4% (1人)
- ②どちらかといえばそう思う 28% (7人)
- ③どちらとも言えない 48% (12人)
- ④あまりそう思わない 12% (3人)
- ⑤そうは思わない 8% (2人)

2. 教員の話し方(言葉・声の調子など)は適切でしたか。

- ①そう思う 80% (20人)
- ②どちらかといえばそう思う 12% (3人)
- ③どちらとも言えない 8% (2人)

3. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮しましたか。

- ①そう思う 64% (16人)
- ②どちらかといえばそう思う 28% (7人)
- ③どちらとも言えない 8% (2人)

4. 配布資料、地図帳、教科書などの教材は適切でしたか。

- ①そう思う 76% (19人)
- ②どちらかといえばそう思う 16% (4人)
- ③どちらとも言えない 8% (2人)

5. 課外での調査は、授業内容の理解を深めるのに有効でしたか。

- ①そう思う 64% (16人)
- ②どちらかといえばそう思う 28% (7人)
- ③どちらとも言えない 8% (2人)

6. この授業は全体的に満足したのか。

- ①そう思う 64% (16人)
- ②どちらかといえばそう思う 28% (7人)
- ③どちらとも言えない 4% (1人)
- ④あまりそう思わない 4% (1人)

このほかに次の自由記述があった。「実際に歩いて地域を見られたので楽しかった。」「グループでの生徒主体の講義形式が多くてとてもよかったと思う。」「実際にフィールドワークに行くことで松山が身近に感じられ、とても勉強になった。」「フィールドワークや地図を書いたり楽しかった。」「フィールドワークで実際に自分の目で見て学べたのがよかった。」「フィールドワークなどもあり、様々な地図を見る事もできたので地図や自分の地域に興味を持てた。」